

ガエリオ・ボードウィン

ロリである！

マウギリスが
ごしらせないほん

R
1.8



ガエリオ・ポードウィン
ポードウィン家の嫡女。



ガエリオは心優しく人なつこく、
髪は春霞のように淡く輝き、
猫のようともまどろむようとも見える
潤んだ瞳を向けられれば、
心を開け放たない者は居なかった。

マクギリス・ファリド
ファリド家によつてきた
拾われっこの息子。



マクギリスの美しさは
ざらりと刺しこむような
壮絶ささえあった。
碧の瞳は悪魔の魔術であった。

見て見て！
またマクギリスが
一位で
私が二位だ！



しかし、さしものマクギリスも、
ガエリオに差し向ける視線は
甘やかに揺れ、救われていた

マクギリスは
その身に宿した力を
視覚化するがごとく、
体躯も見違える程
立派に成長した。



頼り甲斐のある胸板も厚く、
誰もが目を見張る美青年だ。

マクギリスは
才覚と野心は
ガエリオと純真を
ちかからにして
いた。

励まし合い、
時には競い、
しかし常に
二人は隣であつた。





ガエリオは
清纯さ、
素直さ、
穢れ無き
魂の輝きを放つ
美少女だ。

美少女だ。



ほっそりとした腕、
すらりと伸びた脚、
こぶりだが丸くつり上がった尻、
なだらかな腹、
天使のような幼さをたたえた胸。

ガエリオ・ボードウィン

ロリ

である！

美少女だ。

素敵よねえ
流石セブンスターの
跡継ぎ

ガヤ

お金も地位も名誉も
放っておいても
手に入るのに
凄玉揃いなんですって
あの世代

特務三佐って
家柄だけで
届かないわよね
この歳じゃ

何がそこまで
駆り立てるの
かしら

ガヤ

ねえ？
苦労ばかりで
お可哀想な
くらいよ

特にほら……

それって、ねえ？

男装なんか
する羽目になって

酒マズの空気

……

私達くらいの
コガネモチの
ゴレイジヨウくらいが
気楽でいいよね

マクギリス様
てきとーに一曲
踊ってくれるかしら

誘われるように
仕向けるのが
せめてものね

男も誘うのが
マナーなんだし
ここは
割り切ってこ

あー私も

「記念に一曲」
ってつもりなのに
親が目で言うよね

フツ
フツ

あはは
無理無理！

天地がひっくり返っても有り得ないのに。



セブンスターズの嫡子に
されてしまったばかりに

セブンスターズの嫡子に
生まれてしまったばかりに

ふたりは絶対、結ばれないのに。



おや、
こんな所に花が



こんばんは
お揃いで
今宵は華やか
な事ですね

ム。



これみよがしに
儀礼称号で
呼びやがって

「ボードウィン特務三佐」、
でなければ
「ママ」とでも呼ぶが良い

一曲
お相手願えませんか
ボードウィン公

競技ダンスなら
組んでやる

同階級だらう
ママ



壁の、な

カッ
カッ



何が「良い夜」なものか





ガエリオ
こどもも簡単に
部屋に上げて……

こどもの頃から
何も変わらない

……何も

警戒もして
くれないんだな

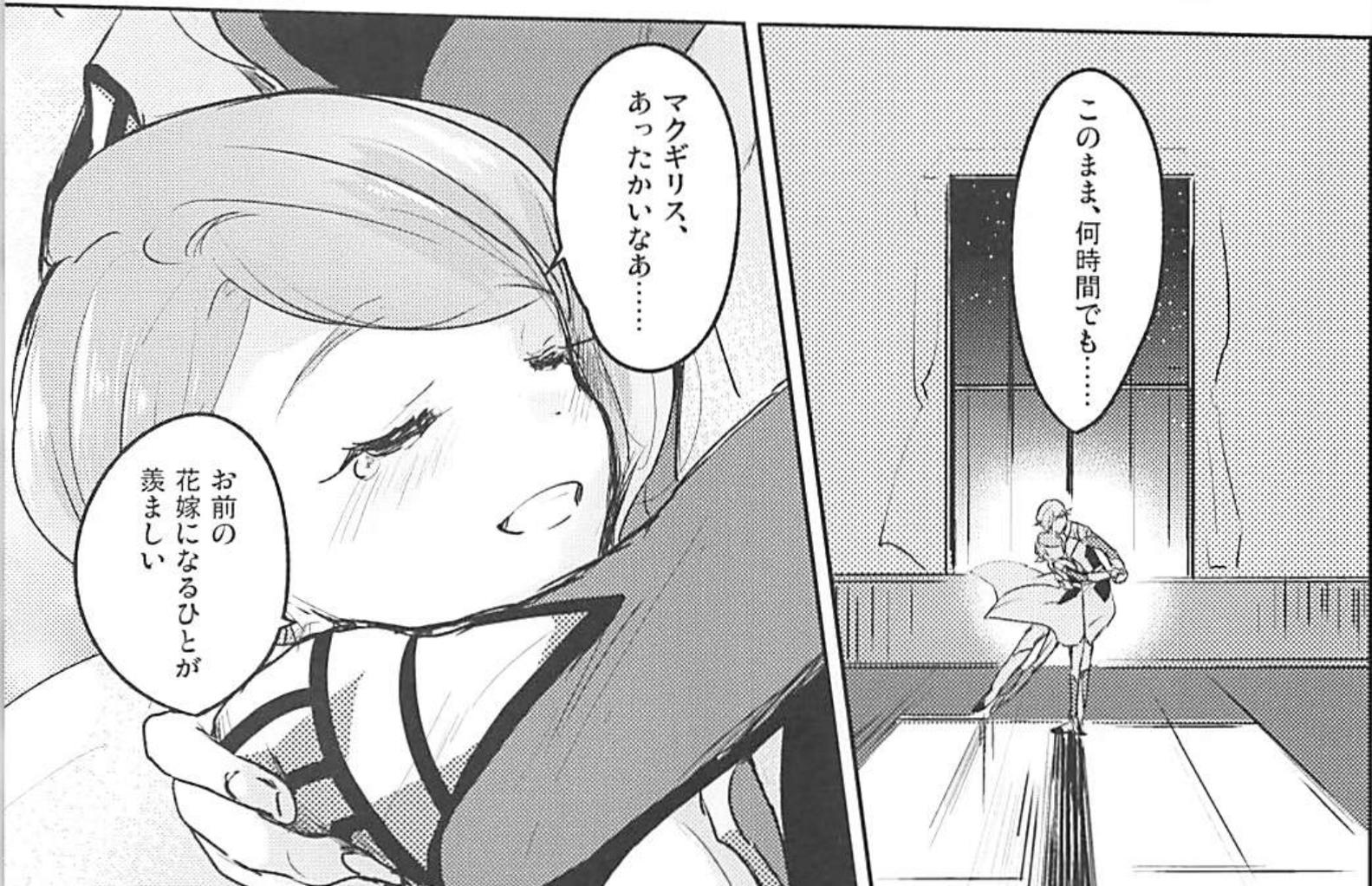
踊ろうか



え

誰も、

見ていないから



このまま、何時間でも……

マクギリス、
あったかいなあ……

お前の
花嫁になるひとが
羨ましい





お前は
秘密の唯一だけを
心に抱いて



それで
生きていかれると
思っているんだろう



お前こそ
こちらの気を
知らないで



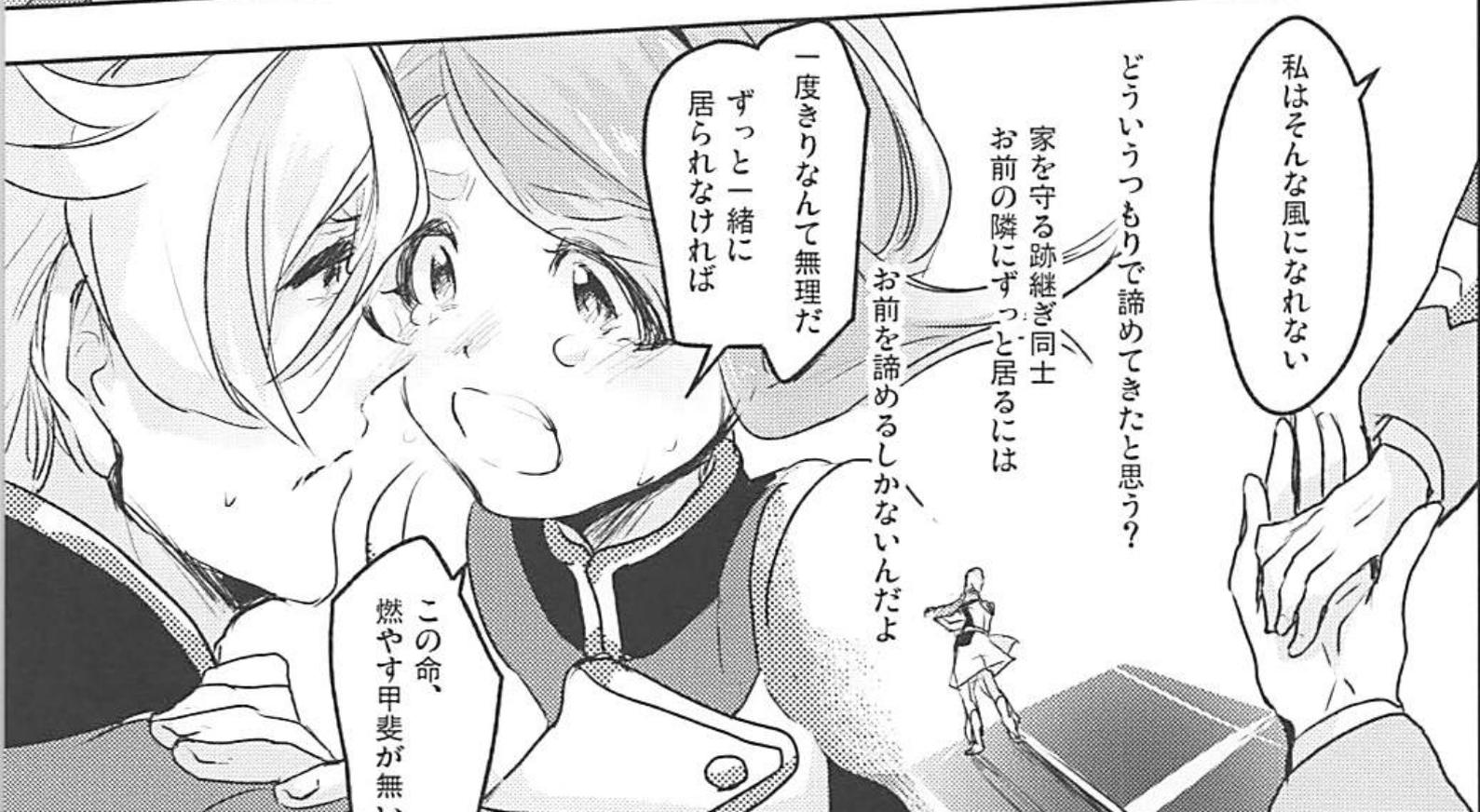
「ならば諸共」

ガエリオッ!!
離せっ!



なんて勇氣も
無いくせに

何……?



私はそんな風になれない

どういっつもりで諦めてきたと思う?

家を守る跡継ぎ同士
お前の隣にずっと居るには

お前を諦めるしかないんだよ

一度きりなんて無理だ
ずっと一緒に
居られなければ

この命、
燃やす甲斐が無い





だから、諦めたいのに……



ガエリオ……

どうして、何も話してくれなかった

お互い様だ



こんな夜更けに男を自室に入れて

招かれる度、「誘惑されている」と思いたかったか



だがお前はそんな様子は欠片も見せない——

それこそ今でさえ私に襲われるとは微塵も考えて居ないのだろうか？

「部屋に入れるのは身の危険を感じてくれていない唯それだけだ」と何度悲嘆に暮れたと思う？

良い本が手に入った！一緒に読もう！



ガエリオ
お前は
悪魔だよ

肩を落として帰る私を知らずに無邪気に次の誘いを入れるのだから



しかしその度、嫌われても失望もされていないと

安堵に胸をなで下ろした



種をあかせば離れられないのはお前も同じだった、と

そうと知らず同じ波間を行ったり来たり

とんだ笑いぐさだ

……ガエリオ
何も話さないのは
お互い様だと
言ったな

では言うが

言わなければ
伝わらない
こともある

変わる世界も
あるはずだ

だめ、それは、
だめだと……

言っている……

言われたら
終わるしかないから

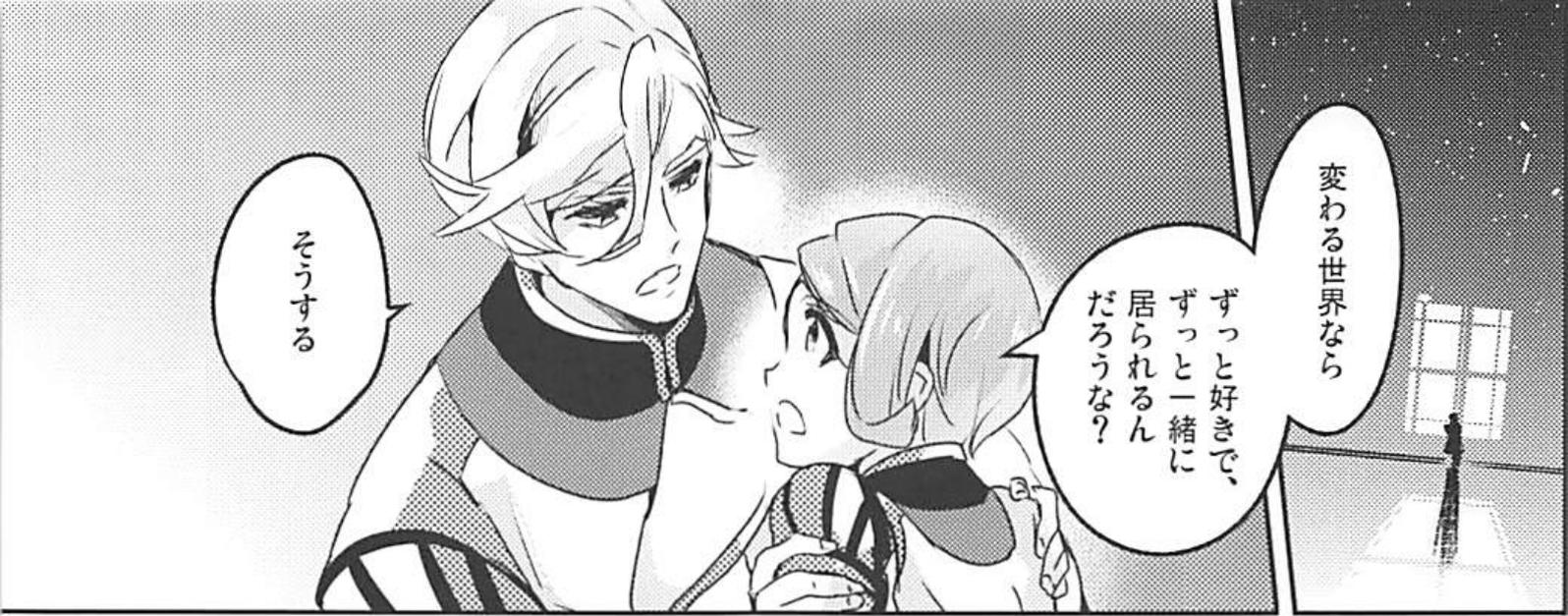
言わないで……

私はいま、このとき、言葉の力を信じる

ガエリオ、好きだ

マクギリス、愛してる

ずっと恋してた



そうする

ずっと好きで、
ずっと一緒に
居られるん
だろうな？

変わる世界なら



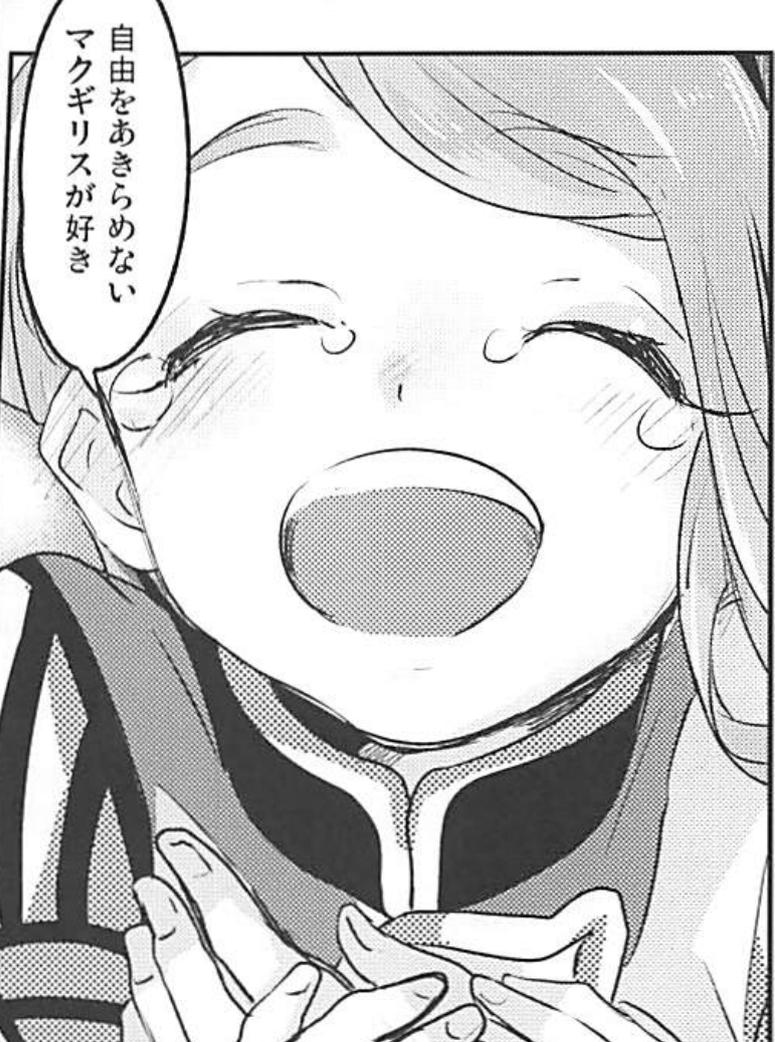
ガエリオ……！

ずっと
隣で支えるから

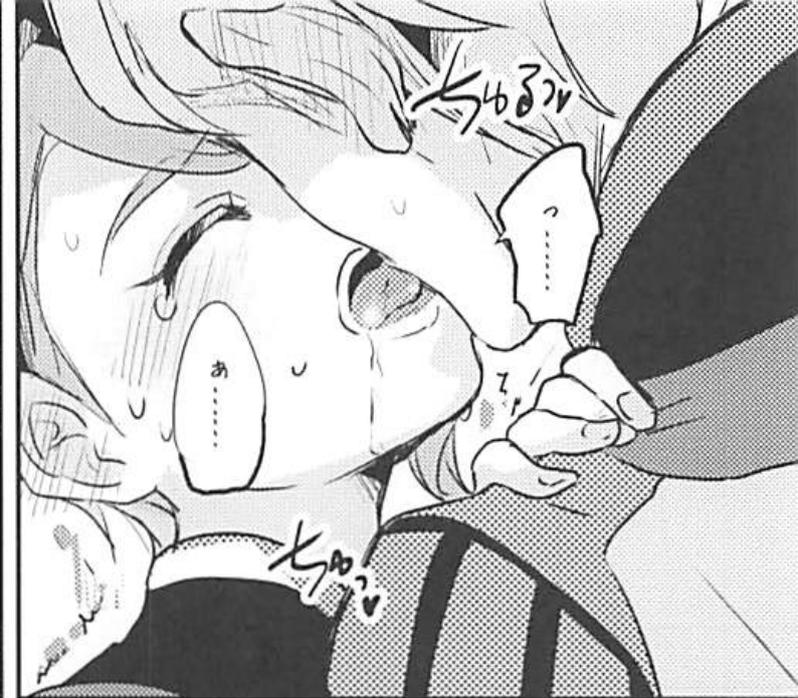


お前の命をくれ

じゃあ、やっぱり
この命は
このまま
お前に預ける



自由をあきらめない
マクギリスが好き





マクギリスのえっち

肯定する他ないな







悪いが
これは
まだ半勃ちだ

こんなに
大きい……
けど……

えええ……



お前を
抱き潰して
しまわないように

ガエリオ、
先に一度、
手で……良いか？

う、
ああ……



気持ち良い
からだよ
ガエリオ

びくっ
てした

そうかっ！



口ですると
喜ぶって、
そ、それくらいは
知っている！

ガエリオ
そんな、事まで……

お前はしなくても
いいよ

嘘をつくなよ？



ガエリオ？



あ、えっと……

マクギリスのここ、
舐めてあげたいな



こっちは期待しているようだよ

あ、あ、すごい……おとこのびびって、こんな……

43



んっ！あふれてきた……！

これが射精

違うぞ

幾らガエリオにフェラチオされてもそこまでする早くはない

3びびび



これはカウパー腺液

イイ時に出てくる

そ、そうか……

マクギリスの事考えるとあそこが濡れてくると同じなんだろうか

びびび

ドキドキ



お前にはこの後
かわいく啼いて
貰いたいからね

迂闊に深く啜えて
喉をやられては
困る

でも

手も使って

カ
カ

カ
カ

ア
ア

ア
ア



ま、まく……
んん

キス、こんな、近いと

マクギリスの声……

頭に響く

ガエリオ……っ！

がえりおっ……！

ガエリオ……

カ
カ

カ
カ

カ
カ



マクギリスとは えっちできない、 かなしくて 思って……

自分では さわれなかった

だから…… マクギリスが いっぱい さわって

白く張る襷で
奥までは
見えない……

これが
ガエリオの
処女膜！

でも
あ、あまり
見ないで

ガエリオ、
それは
「はやく
触って欲しい」
ということかな？

こうされるのを
期待していた？

ちが、ま、くぎ、
何やって……

ちが、
ちがうっ！

こんな
えっちなこと
思いつかない！

あふれた

ちかくで
喋ると？

は、あ、
そんなところ……
ちかくで喋ると……

息が
かかって……！

だ、だけど
これ……っ

初めての刺激に
戸惑うのも無理はない
お前の姿に
私も興奮するよ

ああ
感じるのか

うわっ！！

そ、そうなのか？



指、挿れるが
良いな？

うん……

あぁっ……！

マクギリスの指
ごりごり
するうっ……！

分かるのか

いつも見てた
指だからっ！
いつも
見てた指がナカに
入ってるうっ！

処女膜……
指だけで
破れるモノでは
ないか



ガエリオ！
もう……っ



こんな、小さな所に
私は

それでも私は

好き……
ままっ……

すきっ



淡雪のようなのに
おし返す圧迫感
招くよううなうねり……

きゆうと指一本すら
締め上げる繊細さ

痛くはないか？

だい、じょうぶっ

指
増やすぞ

良いよ
マクギリス……
マクギリスう……



だが、ガエリオ……
私として
オトコだよ

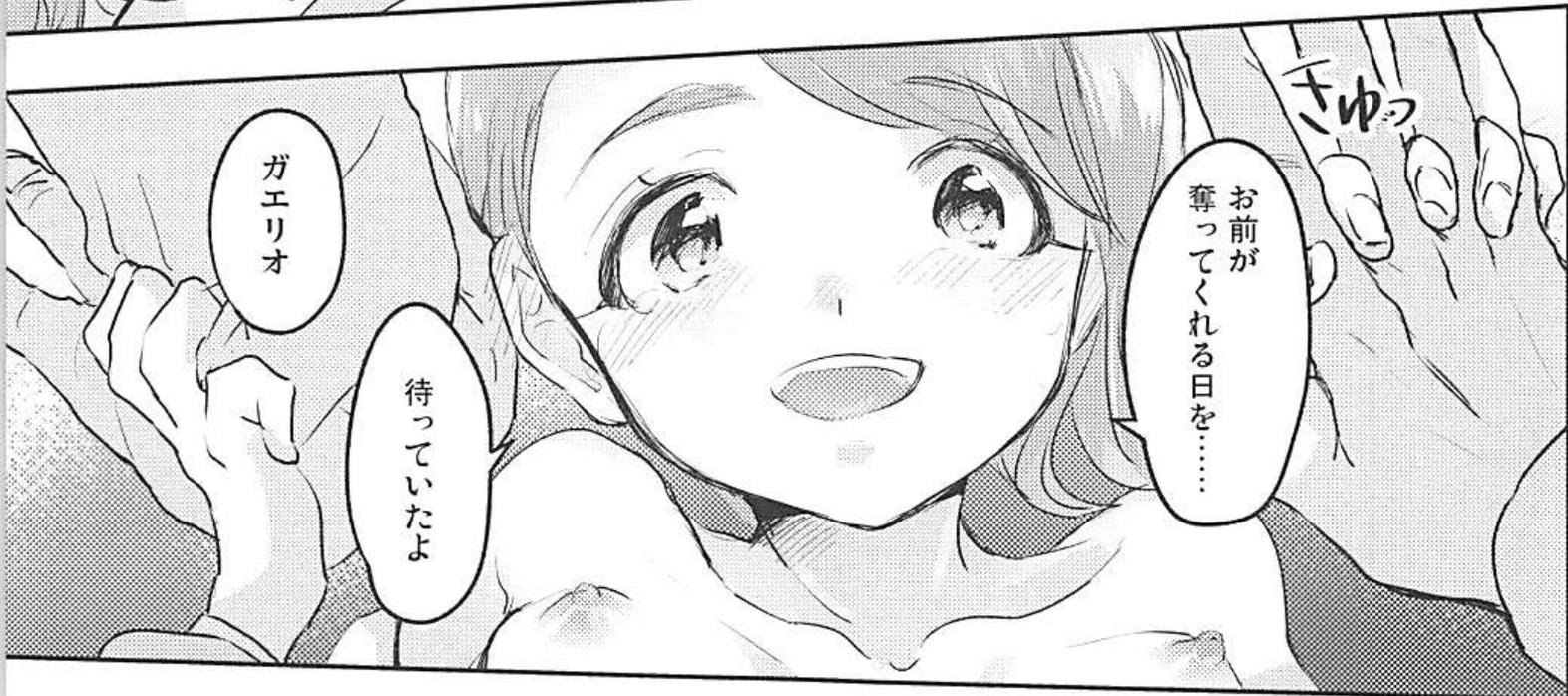
今日のこの日を
愛しいきみと
遂げさせてくれ

わ、わかっている
わかっている……!



そ、そんな
大きいもの……っ
ほんとに

ぐい

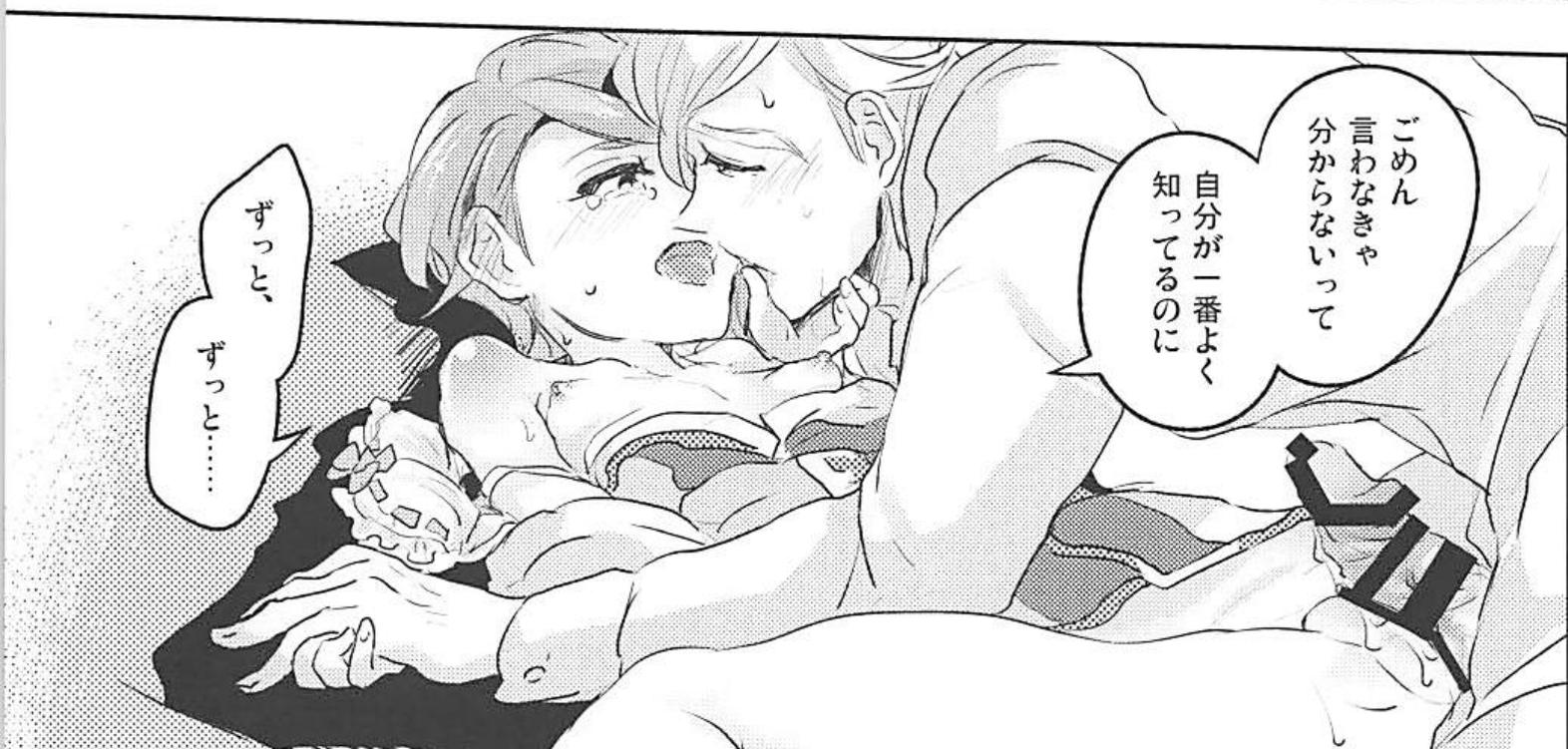


お前が
奪ってくれる日を……

待っていたよ

ガエリオ

ぐゅっ



自分が一番よく
知ってるのに

ごめん
言わなきゃ
分らないって

ずっと、

ずっと……



ゆび、
きもちよかった

お……

言ってくれ

私はお前の声が
聞きたい

お前の
言う通りにするよ

だめだ、言えない！
こんなこと……
何て呼べば良いんだ

言う通りには、
なるはず……



マクギリス、
の……っ
……お、

おちんちん、
ここできもちよく
してあげたい



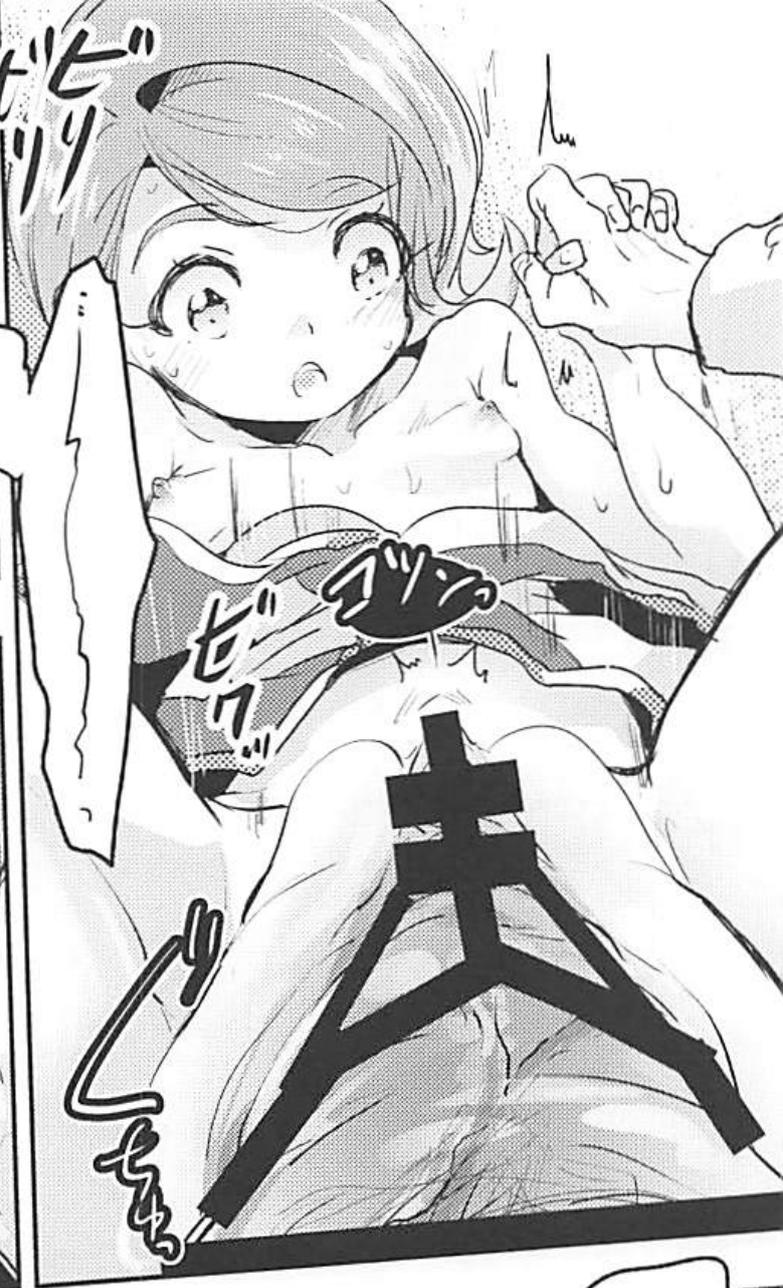
ガエリオー！



まがしん...

!?

まって...
まくぎ



ガエリオ、
お前の、こゝ...

ダメ！
奥っかないて！

そうは言っても、
だな.....!

じゅわん
せつ



お前に
可愛い事を言われると、
コレは言うことを
きかないのも
分かってくれ

ひなな
大きくなって...!!

分かるのか
敏感だな

かっ.....!
かわい.....



マクギリス
おねがい.....

やさしく
して.....



がガマンしてる……
腰ふって
気持ちよくなりた
いはずなのに

は、

ん、
なま
まかた
まぎ

……



すこし、
ゆっくりする、
から

は

は

は

は



それに
お前が私で
感じている
顔を見たい

っ!



お前が
よくなければ
それこそ
男の沽券を
損なうだろう

マクギリス



あッ!!

は

こんな
いじわる
するなまっ……
すっ

お前の方が
吸い付いてっ……!

引き抜こうと
しても……
引き寄せ
られるッ!

うそだ!
そんなこと
してな、いっ!

やだっ!
やめ、あっ!
すっ

や、コッコツ
いや! あん

感じる
才能が
あるのかな
ガエリオ?

エッチで
かわいいよ

ちがっは
ちがう!
はっ

マクギリスが
好きな、
だけ!

好きって思うと
きゅんきゅん
するう……っ

私も、
ガエリオが好きだ
君だけだ

だからきみに
きもちよく
なってほしい
わかる
だろう?

あ、ああ……

ここ、本当に
嫌か?
イヤなら
止めよう

いやじゃ
ない……!

しんじんするう
おかしな

私もだ……!
突くたび
痺れる



マクギリス
きもちい？

いいよ、
ガエリオ

私の亀頭が
きみの子宮口に
吸われるように包まれて
キスしている
ようだと
思わないか？

き、
キス……！！



好きだろう？

好き……！！

こっちで
するキスも
好きに
なりそ……！！

マクギリスうっ！！
こんなに
気持ちいいの
なんて知らない！

私も……っ

肩まで
真っ赤に
染めて……！！

ガエリオが
私のペニスで
啼いてる……！！

ちゅっ♡

ずちゅっ♡

ぐにゅっ♡

ずちゅっ♡

ちゅっ♡



抜くな
マクギリス!

だめだ!

ガエリオっ……!

は
ちゅん

好き、
だいすきっ……



外に——

ガエリオ、
もう……ッ!

おほ

ずん



だいすき!

ナカにちょうだい!

マクギリスの
赤ちゃん欲しい!

は
は

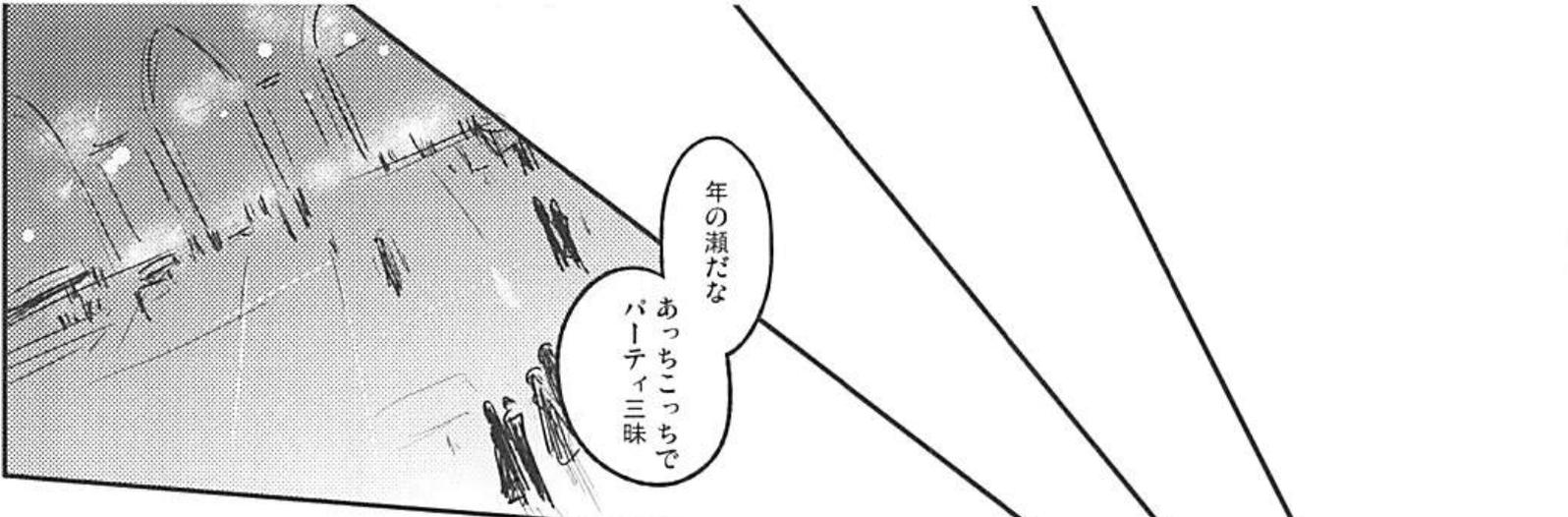
一緒にいい……

ぎゅ

ぎゅ







年の瀬だな
あっちこっちで
パーティー三昧



前妻と離れてから
めっきり冬が
寒くていけません
一晩の暖が欲しい

なに、今時婚前を
とやかく言う者も
居りませんよ

怖い。

前は
一人で突っ張って
居られたのに



煩わしい
手合いも
増える

あなた様も
お年頃

軍装などやめて
かわいらしいドレスに
身を包んでみては

あなたの手を
取りたい者は
大勢いますよ

私も
その一人です



知ってしまったからだ

どうです？

難攻不落の
ボードウインの姫

自然主義の
ボードウイン
ゴムはお嫌いかな？

失礼、

あれを
マクギリス以外
なんて想像する
だけでも

ガエリオに
何か？

マクギリス！

ぎゅっ

ファリド公、
あなたがそうやって
無責任に
騎士気取りを
なさるからボードウィン女公は
いつまでも
壁に張り付くしかない

これでは
壁の花どころか
蕾のまま朽ちる

ふっふふ、
そうですね

大丈夫だ
もう一人で
強がる必要は無い

踊ろうか
マクギリス

な……!?

貴殿は
女が苦しみ
手折られる姿を
好むのでしょうか

いいえ、何も……

いや



よろこばしいこと、
輝かしいことは、
どこにでも咲くもの

二人で強くあれば良い



なににも本当に吐かなくても飲み過ぎては明日に差し障り……

大丈夫か、ガエリオ

うっ

来てくれて良かったよ

すまない遅くなった

ああいった輩は反吐が出……

……

……いや、ガエリオお前は酒を飲んでいない……





私との子を
産んでくれ!

ガエリオっ!

マクギリス



ずっと、
ずっと一緒にいよう

まくギリス
まくギリス……

守って
やれないんだ
無茶はするなよ

今のお前は
宇宙に
出させない



—なんて
言った傍から
宇宙に着いて
行かないとはな



お前が横に
いるつもりで
何とかやるさ

コラールにも
笑顔見せとけよ
肩肘張ってると
要らぬ警戒を
招くからな



どこに居ても
ここで受け止めるから

お前は
どこまでも
飛べるはずだ



飛んでこい、マクギリス

ガエリオ

笑ってくれ、マイ・レディ

ユア・ママ

※補足
補足

1
ファリド公、ホドウィン女公について
公爵の儀礼称号(跡取りである)というつもり……
和訳がこれと合っているのやら。

2
宇宙に行けない事について
無重力下においては胎児に脊椎が形成されないため
(以下お察し下さい。)

3
こじらせない=孤児らせない→新たなオルフェンズを大量生産しない世界
をたい

ガエリオ・ホドウィンはロリである!
マクギリスが孤児らせない本!

発行日 2016/12/30
発行 りんごの季節
印刷会社 大陽出版
メール bigarade_moon@yahoo.co.jp
twitter ringo_harvest
pixiv 20846558

公式とは一切関係ありません。
無断転載・オークション出品はお辞め下さい。



りんごの季節。